



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号



▶MSSMのピート先生と固く握手する青木靖夫校長先生

MSSM生徒来校

東高生と過ごした2日間

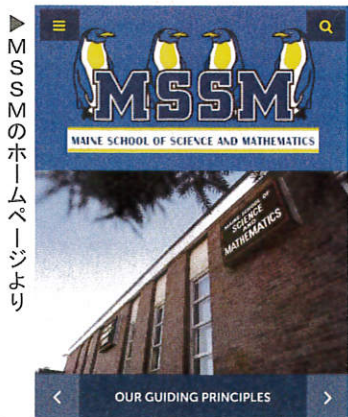
▼箏曲部と交流するクリスチャン君



▲MSSM生徒たちのお土産のお菓子はボランティア生徒全員で分けた。

アメリカのMaine School of Science and Mathematics (以下MSSM) から生徒6名、先生2名が来校され本校と交流した。

そもそもMSSMとは?



▶MSSMのホームページより

MSSMはアメリカのメイン州にある理系に特化した高校。1学年はおよそ30人ほどであり、アメリカの学校の特徴である飛び級生徒もいる。学業はもちろんクラブ活動や理化学の研究、ボランティア活動などその活動は多岐にわたる。

MSSM生徒は1月16日に本校に来校し、17、18日の間バディ係の生徒とともに本校の授業を受けた。放課後にはホームステイ係の生徒と鍵本聡先生の数学基礎講座を受講したり、本校のMSSMボランティア生徒と談笑をしたり

ら参加したい」と、クリスチャン・シルヴァ君は「彦根東高校の授業はほとんど日本語だったので、理解することが難しかった。食事や文化などアメリカと日本には違いが多く面白かった」とそれぞれ感想を話した。

▼研究結果のプレゼンテーションをするエミリーさん



また18日の放課後にはMSSM生徒が日々行っている研究内容についてプレゼンテーションを特別講義室で行った。研究内容は心理学やベジタリアンの食事の効果など多岐にわたった。

今回の交流全体についてMSSM生徒のアンナ・フリーさんは「とても有意義な経験だった。また機会があったらまた参加したい」と、クリスチャン・シルヴァ君は「彦根東高校の授業はほとんど日本語だったので、理解することが難しかった。食事や文化などアメリカと日本には違いが多く面白かった」とそれぞれ感想を話した。